

1



内筒の汚れ

普段は目にしない場所ですが、
ここは洗濯物を入れて洗う内筒で洗濯槽の外側です。
内筒は全体に汚れます。

2

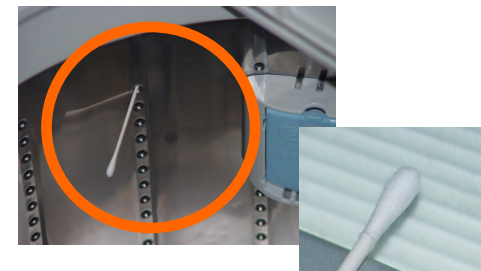


外筒の汚れ

ここは洗濯の水が溜まる所です。特に汚れるのは洗濯時の水面よりも上の箇所です。洗剤の入れすぎで蓄積してきますが逆に洗剤不足や節水すぎでも汚れが残ります。

※溶けない洗剤などは上部に蓄積します。

3



綿棒で汚れをチェックしよう！！

チェックする箇所は、内筒の穴の最上部です。

- ①綿棒を斜め上に差込みます。水面より上の箇所です。
- ②綿棒を外筒に当てながら内筒をゆっくり1回転します。
- ③綿棒の頭に少しでも汚れがあったら洗浄してください。

4



洗浄は12時間コース

汚れ具合で洗浄時間を長くしますが、一番簡単で効果的なのは、洗濯機を使わない夜から朝までの12時間コースなどです。汚れが頑固な場合は24時コースで、途中で洗濯機を回すと効果的です。

注意

軟膏は最も落ち難いものですからお湯は40度～60度にして12～24時かけてください。又はワセリンクリーナーをご使用下さい。

5



使い方(ドラム式は半分入れて下さい)

- ①洗濯機に粉末と液体を一緒に全量入れます。
- ②40度から60度のお湯を必ず最高水量まで入れます。
- ③バスタオルなど1～2枚入れて10分間回します。
- ④一時停止又は電源を切って12時間放置します。
- ⑤最後に洗濯時間を10分にして洗濯～すすぎをして完了。

注意:電源OFFで排水される洗濯機は一時停止にします。

6



汚れが残っている場合は？

汚れ具合では1回で100%取れない場合もあり、写真のように洗濯中に汚れが出て来る時があります。綿棒でチェックして汚れがある場合は、2度目の洗浄をして下さい。

※連続の場合は市販のクリーナーでも落せる事があります。
徐々に黒カビは無くなりますが続けて出てくる時は、もう一度洗濯槽を洗浄してください。

※黒カビが出る前の定期清掃をおすすめします。

1



内胴の汚れ

普段は目にしない場所ですが、
ここは洗濯物を入れて洗う内胴で洗濯槽の外側です。
内胴は全体に汚れます。

2

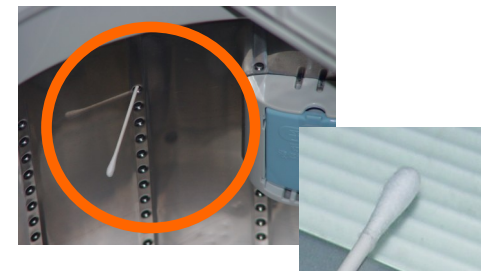


外胴の汚れ

ここは洗濯の水が溜まる所です。特に汚れるのは洗濯時の水面よりも上の箇所です。洗剤の入れすぎで蓄積してきますが逆に洗剤不足や節水すぎでも汚れが残ります。

※溶けない洗剤などは上部に蓄積します。

3



綿棒で汚れをチェックしよう！！

チェックする箇所は、内胴の穴の最上部です。

- ①綿棒を斜め上に差込みます。水面より上の箇所です。
- ②綿棒を外胴に当てながら内胴をゆっくり1回転します。
- ③綿棒の頭に少しでも汚れがあったら洗浄してください。

4



洗浄は12時間コース

汚れ具合で洗浄時間を長くしますが、一番簡単で効果的なのは、洗濯機を使わない夜から朝までの12時間コースなどです。汚れが頑固な場合は24時コースで、途中で洗濯機を回すと効果的です。

注意

軟膏は最も落ち難いものですからお湯は40度～60度にして12～24時かけてください。又はワセリンクリーナーをご使用下さい。

5



使い方 (ドラム式は半分入れて下さい)

- ①洗濯機に粉末と液体を一緒に全量入れます。
- ②40度から60度のお湯を必ず最高水量まで入れます。
- ③バスタオルなど1～2枚入れて10分間回します。
- ④一時停止又は電源を切って12時間放置します。
- ⑤最後に洗濯時間を10分にして洗濯～すすぎをして完了。

注意: 電源OFFで排水される洗濯機は一時停止にします。

6



汚れが残っている場合は？

汚れ具合では1回で100%取れない場合もあり、写真のように洗濯中に汚れが出て来る時があります。綿棒でチェックして汚れがある場合は、2度目の洗浄をして下さい。

※連続の場合は市販のクリーナーでも落せる事があります。徐々に黒カビは無くなりますが続けて出てくる時は、もう一度洗濯槽を洗浄してください。

※黒カビが出る前の定期清掃をおすすめします。